やなせたかし―アンパンマンの勇気―②　名前（　　　　　　　　　　　）

１場面　やなせたかしが力をふるい起こし「ぼくも、何かできることをしなければ」と思ったのは、どうしてだろうか。

めあて　やなせたかし―アンパンマンの勇気―を読み取ろう

２場面　やなせたかしの生い立ち・経験

　父が病死し、おじ夫婦のもとに引き取られたことで、えんりょする気持ちがあり、どうしてもすなおになることができず、

（　内気　）な性格になった。

そんなたかしを救ったのは、（絵を描くこと　　　）だった。

そして、（　まんが家になりたい　　）という夢をいだくようになった。

たかしは徴兵され、中国大陸の戦場に行くことになった。

戦場で最もつらかったのは、

（食べるものがなかったこと　　　　　）だった。

四年半ぶりに日本に帰ってきたたかしは、

（弟の千尋が戦死した　　　　　　　　）ことを知る。

３場面　やなせたかしの「正義」の考えのもととなった出来事

おさない兄弟が（おにぎりを分け合っているのを見た。　　　）二人とも幸せそうに笑っていた。その笑顔を見て、

振り返り

**「本当の正義とは、おなかがすいている人に、食べ物を分けてあげることだ。」**と気が付いた。

４場面　アンパンマンの特徴・やなせたかしの信念

アンパンマンの特徴

①（顔がぬれただけで、力がなくなってしまう）

②（かっこいい武器を持っていない）

③（こまった人や傷ついた人がいると、まっ先にかけつける）

④（自分の顔を食べさせることで元気をあたえる）

やなせたかしの信念

５場面　やなせたかしは「力をふるい起こした」要因となった「本当のヒーロー」とは、どのような人のことなのだろうか。